

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	高齢者に対する術前 GS 療法の安全性および中期成績の検討
	研究対象者	2019 年 1 月 1 日から 2024 年 6 月 30 日までに当院で切除可能膵癌に対して術前 GS 療法施行後に根治手術を行った浸潤性膵管癌患者のうち包括同意を頂いている方。
	研究目的	術前 Gemcitabine + S-1 (GS) 療法が高齢者にも安全に施行でき、かつ、若年者と同様の効果が期待できるかを検討することを目的とする。
	研究方法	臨床データを用いて 75 歳以上の方と 75 歳未満の方に分類し、GS 療法の実施状況、周術期成績、および術後 2 年までの中期成績について検討する。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号(識別コード)で管理します。個人と識別コードを照合できるようする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2026 年 1 月 26 日～西暦 2026 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目(チェック[X]が入った項目を利用します)	利用又は提供を開始する時期	[×]総長が研究実施を許可した日 [] 西暦 年 月 日頃 (研究の進捗によって前後いたします)
	[] 試料:	[] 血漿、[] 血清、[] 全血、[] 末梢血から抽出した DNA、 [] 病理検体(具体的に記載: _____) [] 尿、[] 粪便、[] 唾液、[] 胸水、[] 腹水、[] 脳脊髄液、 [] 毛髪、[] その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	[×] 情報:	[X] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X] 年齢、[] 生年月日、 [X] 性別、[X] 既往歴、[X] 併存疾患、[X] 外来日・入院日・退院日、[X] 臨床検査値、[X] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 [X] 臨床所見・経過(予後追跡データを含む)、[] ゲノムデータ、[] 看護記録、[] その他(具体的に記載: _____)
	当センター研究責任者	所属・氏名 消化器外科レジデント 金井 達哉
	共同研究機関および責任者	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	その他の機関	なし
	消化器外科(肝胆膵)	金井 達哉 045(520)2222 利用停止のお申し出は 2026 年 3 月 31 日までにお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります